

学校全体での活用例（小学校）

1 本事例でシートを活用する趣旨

新学習指導要領では、「書くこと」に関する指導について、第1学年及び第2学年では年間100単位時間程度、第3学年及び第4学年では年間85単位時間程度、第5学年及び第6学年では年間55単位時間程度を配当するように示されている。児童に「書く力」を付けるためには、これらの時数を年間指導計画に確実に位置付けた国語科の指導を行うことが求められる。

国語学習シートには、取材・構成・記述段階で作文を書くときに役立つ下記のようなシートが数多くあり、授業の中でも活用している。

「書くこと」に関する『国語学習シート』の活用例		
取 材	 小シート36	作文のたねさがし
	 小シート44	はっけんメモ
	 小シート57	書くことさがし
	 小シート68	作文取材メモ
構 成	 小シート34	じゅんじょよく書こう
	 小シート37	せつめい名人になろう
	 小シート74	作文組み立てメモ
	 小シート94	意見文構想メモ
記 述	 小シート14	しらせたいな、こんなこと
	 小シート22	したことノート
	 小シート54	作文を書こう
	 小シート65	わたしのおすすめ作品
	 小シート88	新聞をつくろう
	 小シート114	読んだ本についてまとめよう

「書くこと」に関するシートは、児童の発達段階に応じて考えられており、「書くこと」の系統的な指導について教員間で共通理解を図ることができる。そこで、シートを全校作文タイムや放課後学習室という学校全体としての取り組みの中で活用することにより、書くことに対する学習意欲や学習効果を高めることができると考えた。

2 シートを活用した指導の実際

(1) 全校作文タイムの取り組み

このページに示したのは、全校一斉に行う「作文タイム」の一例である。これは、学校の実態に応じて、学年や学級単位で行うことも考えられる。

指導の流れとしては、右のようなものが考えられる。

【小シート57】や【小シート68】を増し刷りして教室に置いておくと、日記や作文、詩を書きたいときにすぐに役立つ。

視写に関するシートは、学年の発達段階に応じたものになっているため、文章を書くときに役立つ。また、視写にかかった時間を記入することで、児童にその伸びを実感させることができる。

「作文タイム」の指導の流れ

①何を書くのかを考える。

※題材に合わせて取材メモをとり、書きたい内容を決める。

②課題にそって作文を書く。

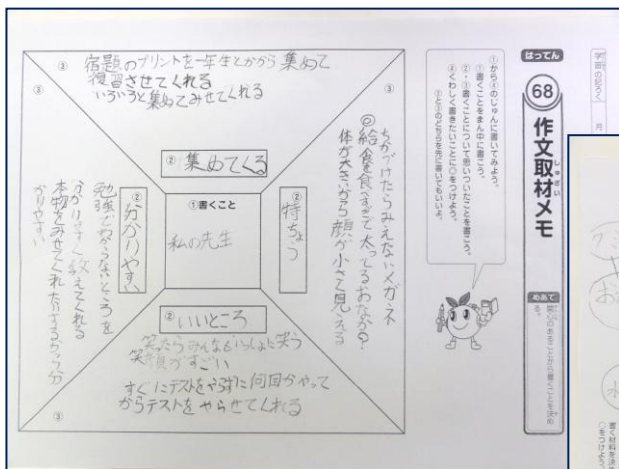
※題材によっては、シートにそのまま記述する。

③書いた作文を読み合う。

○となりの友達と作文を交換し、読んだ感想を交流する。

○書いた作文をグループで読み合い、よく書けているところなどについて意見を交流する。

④書いた作文を自己評価し、ファイルに綴じて整理する。

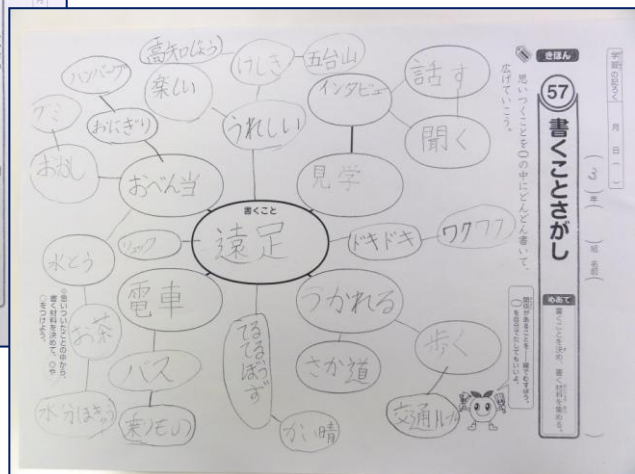


小シート68

「私の先生」を題材とした作文取材メモ
（書きたいことの整理）

小シート57

「遠足」を題材とした書くことさがし
（ウェビング法）



(2) 放課後学習室の取り組み

国語学習シートは、朝の会、帰りの会、授業、家庭学習などの様々な場で活用することができる。また、放課後学習室等を開設している学校では、例えば、漢字の習熟を図ったり、漢字に対する興味・関心をもたせたりするために次のようなシートを活用することもできる。

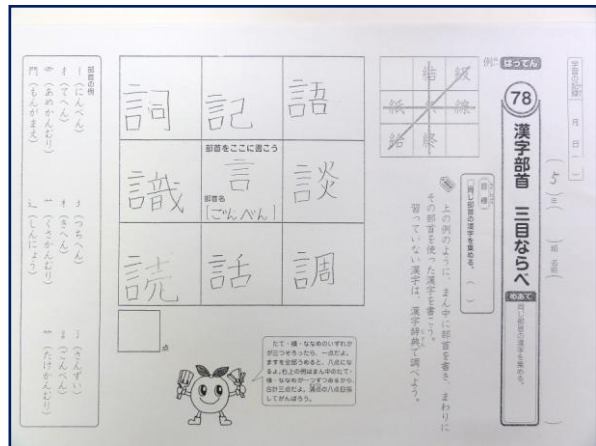
シート活用の際には、まず自分で考えさせ、その後、教科書や国語辞典、漢字辞典で調べて、確認させる。発展として、ゲーム形式や競い合いを取り入れ、友達と一緒に学ぶことでより楽しい学習となる。

▼放課後学習室での様子



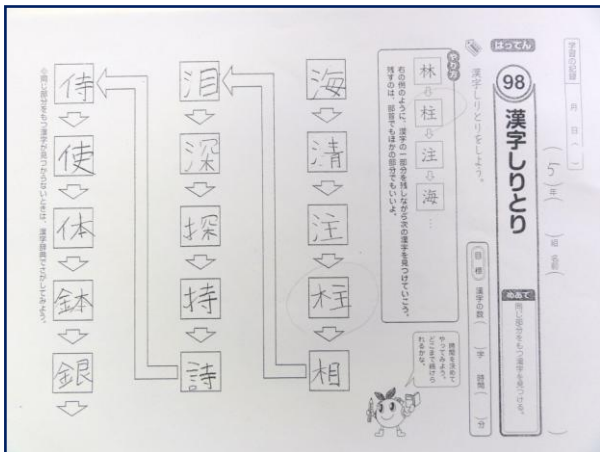
▼ **小シート 78**

部首を習ったばかりの4年生が意欲的に取り組むことのできるシート
(真ん中に書いた部首の漢字を、教科書などから見付ける。)



▼ **小シート 98**

ゲーム感覚で楽しみながら習得
(ペアを作って交互に漢字を書いていく。)

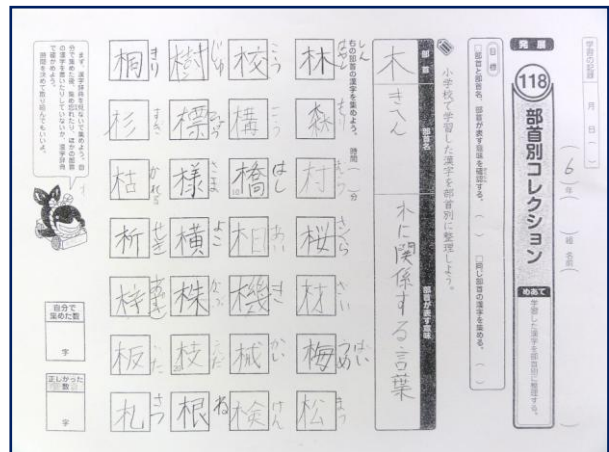


<児童の感想>

漢字しりとりをやりました。「相」から次につづく漢字が思いうかばなかったけれど、先生がヒントをくれたので「泪」が書けました。「泪」は習っていなかったけれど、なみだと読むことは知っていました。今度は、自分だけで最後まで書いてみたいです。

▼ **小シート 118**

友達との競い合い
(時間内に同じ部首の漢字をできるだけ多く書いていく。)



部首別コレクションの「きへん」を3人で順番に書いていきました。漢字がわからなくて3人で考えてもわからないときは、先生が教えてくれて、「きへん」も「さんずい」も28個全部書くことができました。協力してやったらとても楽しかったのでまたやりたいです。